

## 振り返り企業調査 － 外国人学生の採用状況等について－

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、新卒採用（大学・大学院卒）に関する調査を実施しました。今回、調査結果の【外国人学生の採用状況等について】としてまとめましたので、ご報告申し上げます。

### ＜サマリー＞

- 外国人学生採用実施企業に、2021年卒外国人学生採用の2020年卒と比較した状況を聞いたところ、2020年卒と同程度以上（「増えた」＋「同程度採用した」）は3割超え、「減った」は35.1%、「不明・未定」は32.2%であった。
- 外国人学生の採用目的は、「特に区別していないが応募があり採用した」が6割を超えているが、「組織や人材の多様性推進のため」が半数を超えている。
- 採用上の課題については、日本語能力の不十分さや社内の受け入れ体制に、半数以上が課題観を持っている。
- 外国人学生に求める日本語能力について、最低限必要なのは「日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる（N2）」が最も高く、望ましいのは、「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる（N1）」だった。
- 外国人学生の入社後の活躍状況は、6割以上が活躍しているとの認識である。
- 外国人学生を採用していない企業にその理由を聞いたところ、約半数近くが、社内の受け入れ体制の不十分さを挙げている。採用企業を含めて、社内の受け入れ体制が重要な要素となっている。

### ＜内容＞

1) 外国人学生採用の2020年卒と比べた2021年卒採用状況	3
従業員規模別、地域別	3
2) 外国人学生の採用目的について	4
従業員規模別、地域別	5
3) 外国人学生の採用上の課題について	6
従業員規模別、地域別	7
4) 外国人学生に求める日本語能力について	8
従業員規模別、地域別	9
5) 外国人学生の入社後の活躍状況について	10
従業員規模別、地域別	11
6) 外国人学生を採用しない理由について	12
従業員規模別、地域別	13

### ■2021年卒の大学生・大学院生の採用活動振り返り調査：2020年実施調査

- 調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
- 調査方法：郵送調査・WEB調査
- 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業 4577社
- 調査期間：2020年12月4日～2021年1月13日
- 回収社数：1398社（回収率30.5%）

### ■2020年卒の大学生・大学院生の採用活動振り返り調査：2019年実施調査

- 調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
- 調査方法：郵送調査
- 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業 4853社
- 調査期間：2019年12月5日～2020年1月14日
- 回収社数：1256社（回収率25.9%）

#### ≪調査結果を見る際の注意点≫

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある
- 2020年卒業や2021年卒業を「2020年卒」「2021年卒」と表記
- 前年差とは、今回調査結果と前回調査結果の差
- データは無回答サンプルを除いて集計している
- サンプル数50未満の集計値は参考値として取り扱う
- 従業員規模の無回答企業があるため、従業員規模別の計と全体は一致しない
- 無回答項目はグラフ・数表内で「-」と表記
- 地域
  - 関東 = 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
  - 中部 = 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
  - 近畿 = 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
  - その他地域 = 「関東」「中部」「近畿」以外

## 1) 外国人学生採用の2020年卒と比べた2021年卒採用状況

### 2021年卒外国人学生の採用は、「不明・未定」が3割超

外国人学生採用実施企業に、2021年卒外国人学生採用の2020年卒と比較した際の状況を聞いたところ、2020年卒と同程度以上（「増えた」＋「同程度採用した」）は3割超え、「減った」は35.1%、「不明・未定」は32.2%であった。ちなみに、2019年卒と比較した2020年卒の場合、「不明・未定」は17.2%だった。

従業員規模別に見ると、5000人以上企業で「増えた」が19.0%と他の規模よりも高く、1000～4999人企業で「減った」が40.6%と他の規模よりも高い。

地域別に見ると、近畿で「増えた」が19.2%と他の地域よりも高く、関東で「減った」が38.2%と他の地域よりも高い。

#### ■外国人学生採用の2020年卒と比べた2021年卒採用状況（外国人学生採用実施経験あり企業／単一回答）

□全体

		（%）			
		増えた	同程度採用した	減った	不明・未定
●凡例		14.4	18.3	35.1	32.2
全体	n=410	14.4	18.3	35.1	32.2

□従業員規模別、地域別

		（%）				
		n	増えた	同程度採用した	減った	不明・未定
全体		410	14.4	18.3	35.1	32.2
従業員規模	300人未満	74	10.8	10.8	29.7	48.6
	300～999人	138	14.5	17.4	34.8	33.3
	1000～4999人	138	14.5	21.0	40.6	23.9
	5000人以上	58	19.0	22.4	29.3	29.3
地域	関東	212	11.8	21.7	38.2	28.3
	中部	54	13.0	14.8	33.3	38.9
	近畿	78	19.2	15.4	35.9	29.5
	その他地域	66	18.2	13.6	25.8	42.4

参考）外国人学生採用の2019年卒と比べた2020年卒採用状況（外国人学生採用実施経験あり企業／単一回答）

		（%）				
		n	増えた	同程度採用した	減った	不明・未定
全体		309	29.1	24.3	29.4	17.2
従業員規模	300人未満	31	19.4	16.1	32.3	32.3
	300～999人	89	33.7	22.5	25.8	18.0
	1000～4999人	107	32.7	23.4	29.9	14.0
	5000人以上	35	28.6	31.4	28.6	11.4
地域	関東	183	27.3	29.0	30.1	13.7
	中部	38	36.8	10.5	23.7	28.9
	近畿	48	35.4	27.1	22.9	14.6
	その他地域	40	22.5	12.5	40.0	25.0

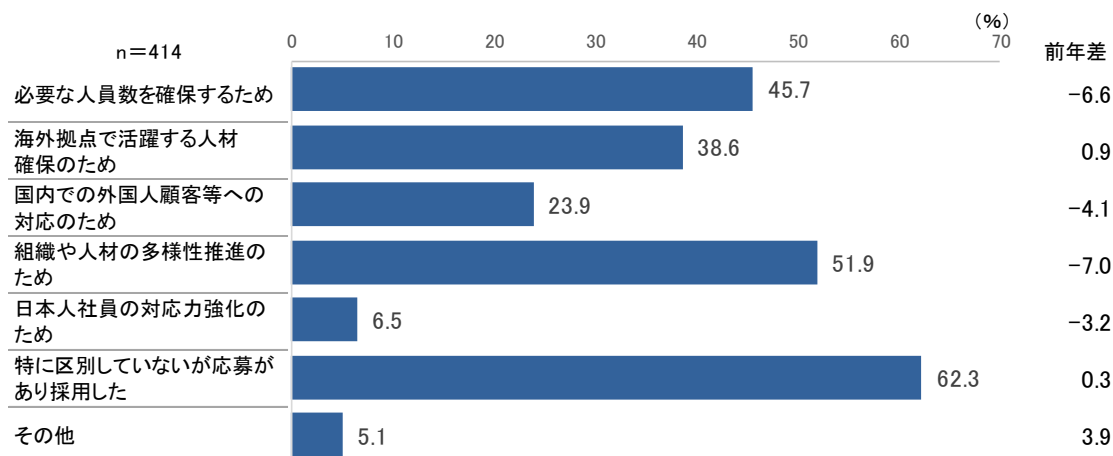
## 2) 外国人学生の採用目的について

### 「組織や人材の多様性推進のため」に採用が半数を超える

外国人学生採用実施企業に、外国人学生の採用目的を聞いたところ、「特に区別していないが応募があり採用した」が6割を超えているが、「組織や人材の多様性推進のため」が半数を超えている。

従業員規模別に見ると（P5）、どの規模も「特に区別していないが応募があり採用した」が最も高いが、次点で高いのは、300人未満企業および300～999人企業では「必要な人材確保するため」、1000～4999人企業および5000人以上企業では「組織や人材の多様性推進のため」だった。

■外国人学生の採用目的（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）



## 2) 外国人学生の採用目的について\_従業員規模別、地域別

### ■外国人学生の採用目的

□2020年実施調査\_全体、従業員規模別、地域別（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）

(%)

		n	必要な人員 数を確保す るため	海外拠点で 活躍する 人材確保の ため	国内での外 国人顧客等 への対応の ため	組織や人材 の多様性推 進のため	日本人社員 の対応力強 化のため	特に区別し ていないが 応募があり 採用した	その他
全体		414	45.7	38.6	23.9	51.9	6.5	62.3	5.1
従業員 規模	300人未満	75	46.7	26.7	28.0	44.0	10.7	54.7	8.0
	300～999人	138	48.6	43.5	22.5	44.9	5.8	63.8	3.6
	1000～4999人	141	41.1	36.2	23.4	56.7	3.5	63.8	6.4
	5000人以上	58	46.6	50.0	24.1	65.5	10.3	67.2	1.7
地域	関東	214	50.0	36.9	21.5	55.6	5.1	65.9	5.1
	中部	53	45.3	43.4	22.6	56.6	9.4	60.4	5.7
	近畿	79	40.5	43.0	26.6	49.4	8.9	58.2	2.5
	その他地域	68	38.2	35.3	29.4	39.7	5.9	57.4	7.4

□2019年実施調査\_全体、従業員規模別、地域別（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）

(%)

		n	必要な人員 数を確保す るため	海外拠点で 活躍する 人材確保の ため	国内での外 国人顧客等 への対応の ため	組織や人材 の多様性推 進のため	日本人社員 の対応力強 化のため	特に区別し ていないが 応募があり 採用した	その他
全体		321	52.3	37.7	28.0	58.9	9.7	62.0	1.2
従業員 規模	300人未満	32	68.8	37.5	18.8	46.9	9.4	53.1	-
	300～999人	93	48.4	40.9	33.3	60.2	12.9	61.3	1.1
	1000～4999人	111	49.5	34.2	28.8	60.4	10.8	60.4	2.7
	5000人以上	36	52.8	36.1	27.8	61.1	5.6	55.6	-
地域	関東	193	56.0	35.8	27.5	61.7	11.4	63.2	0.5
	中部	38	50.0	44.7	28.9	60.5	13.2	60.5	-
	近畿	50	42.0	48.0	28.0	56.0	8.0	62.0	-
	その他地域	40	50.0	27.5	30.0	47.5	-	57.5	7.5

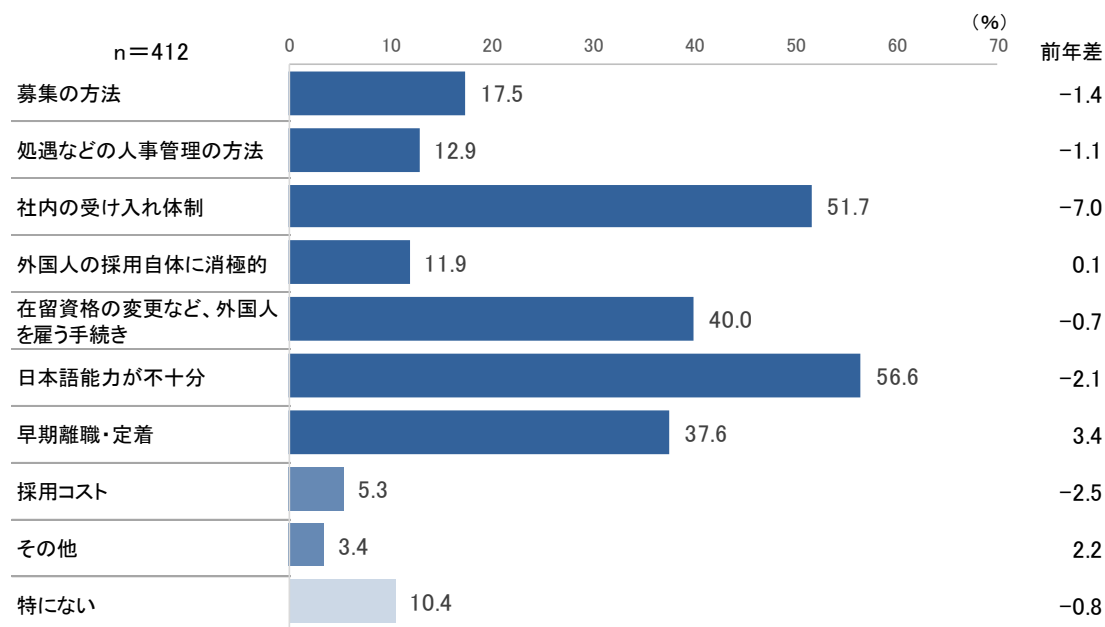
### 3) 外国人学生の採用上の課題について

#### 日本語能力や社内の受け入れ体制に企業の半数以上で課題観

外国人学生採用実施企業に、外国人学生の採用上の課題を聞いたところ、「日本語能力が不十分」は56.6%、「社内の受け入れ体制」が51.7%と、半数以上の企業が課題としている。

従業員規模別に見ると（P 7）、各規模で「社内の受け入れ体制」「日本語能力が不十分」は上位2項目として共通で、3番目に高いのは、「在留資格の変更など、外国人を雇う手続き」が300～999人および1000～4999人企業、「早期離職・定着」が300人未満および5000人以上企業である。

■外国人学生の採用上の課題（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）



### 3) 外国人学生の採用上の課題について\_従業員規模別、地域別

■外国人学生の採用上の課題（2021年卒採用実施かつ外国人留学生採用実施企業／複数回答）

□2020年実施調査\_全体、従業員規模別、地域別（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）

(%)

		n	募集の方法	処遇などの人事管理の方法	社内の受け入れ体制	外国人の採用自体に消極的	在留資格の変更など、外国人を雇う手続き	日本語能力が不十分	早期離職・定着	採用コスト	その他	特にない
全体		412	17.5	12.9	51.7	11.9	40.0	56.6	37.6	5.3	3.4	10.4
従業員規模	300人未満	75	13.3	17.3	54.7	9.3	40.0	60.0	49.3	9.3	5.3	6.7
	300~999人	137	15.3	13.1	52.6	13.1	41.6	55.5	30.7	2.9	3.6	10.9
	1000~4999人	140	21.4	10.0	44.3	13.6	42.1	52.9	36.4	5.0	3.6	12.9
	5000人以上	58	19.0	13.8	62.1	6.9	32.8	62.1	43.1	6.9	-	8.6
地域	関東	214	17.3	15.0	52.8	13.6	40.2	57.0	37.9	5.6	2.8	12.6
	中部	52	19.2	19.2	55.8	13.5	36.5	44.2	34.6	-	3.8	11.5
	近畿	78	16.7	9.0	51.3	7.7	33.3	57.7	38.5	9.0	2.6	7.7
	その他地域	68	17.6	5.9	45.6	10.3	50.0	63.2	38.2	4.4	5.9	5.9

□2019年実施調査\_全体、従業員規模別、地域別（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）

(%)

		n	募集の方法	処遇などの人事管理の方法	社内の受け入れ体制	外国人の採用自体に消極的	在留資格の変更など、外国人を雇う手続き	日本語能力が不十分	早期離職・定着	採用コスト	その他	特にない
全体		322	18.9	14.0	58.7	11.8	40.7	58.7	34.2	7.8	1.2	11.2
従業員規模	300人未満	33	24.2	15.2	63.6	15.2	30.3	60.6	51.5	15.2	-	3.0
	300~999人	93	16.1	19.4	61.3	5.4	40.9	65.6	30.1	4.3	-	8.6
	1000~4999人	111	16.2	12.6	59.5	17.1	45.0	60.4	33.3	7.2	0.9	8.1
	5000人以上	36	22.2	2.8	52.8	16.7	44.4	63.9	22.2	8.3	2.8	8.3
地域	関東	194	20.6	12.4	58.2	9.3	42.3	59.8	38.1	9.8	1.5	10.3
	中部	38	21.1	21.1	60.5	10.5	42.1	65.8	26.3	-	-	7.9
	近畿	50	12.0	10.0	54.0	14.0	28.0	52.0	20.0	4.0	-	20.0
	その他地域	40	17.5	20.0	65.0	22.5	47.5	55.0	40.0	10.0	2.5	7.5

#### 4) 外国人学生に求める日本語能力について

### 最低限必要な日本語能力は、より広い場面で使われる日本語理解

外国人学生採用実施企業に、外国人学生に求める採用する際の最低限必要な日本語能力と、採用時点での望ましい日本語能力を聞いた。

最低限必要な日本語能力は、「日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」N2レベル(※)が最も多かった。また、望ましい日本語能力は、「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」N1レベル(※)だった。

※国際交流基金・日本国際教育支援協会「日本語能力試験」の5つのレベル

■採用する際の外国人学生に求める必要な最低限必要および望ましい日本語能力  
(外国人学生採用実施経験あり企業/単一回答)

		(%)				
		幅広い場面で使われる日本語を理解することができる (N1)	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N2)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N3)	基本的な日本語を理解することができる (N4)	基本的な日本語をある程度理解することができる (N5)
●凡例						
最低限必要	n=412	29.6	46.6	18.9	2.4	2.4
望ましい	n=405	76.3	18.5	4.0	0.2	1.0
最低限必要		29.6	46.6	18.9	2.4	2.4
前年差		-4.9	3.3	3.5	-3.2	1.1
望ましい		76.3	18.5	4.0	0.2	1.0
前年差		-1.7	-0.2	1.7	-0.8	1.0



#### 4) 外国人学生に求める日本語能力について\_従業員規模別、地域別

■採用する際の外国人学生に求める必要な最低限必要な日本語能力

□2020年実施調査\_全体、従業員規模別、地域別（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）

(%)

	最低限必要な日本語能力						望ましい日本語能力						
	n	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる(N1)	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N2)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N3)	基本的な日本語を理解することができる(N4)	基本的な日本語をある程度理解することができる(N5)	n	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる(N1)	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N2)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N3)	基本的な日本語を理解することができる(N4)	基本的な日本語をある程度理解することができる(N5)	
全体	412	29.6	46.6	18.9	2.4	2.4	405	76.3	18.5	4.0	0.2	1.0	
従業員規模	300人未満	76	19.7	42.1	30.3	3.9	3.9	72	69.4	22.2	5.6	-	2.8
	300~999人	137	32.1	47.4	16.1	2.2	2.2	135	77.8	17.8	3.0	0.7	0.7
	1000~4999人	141	29.1	49.6	17.0	2.8	1.4	140	77.9	17.9	4.3	-	-
	5000人以上	56	39.3	42.9	14.3	-	3.6	56	78.6	17.9	1.8	-	1.8
地域	関東	211	30.8	45.5	18.5	2.4	2.8	208	76.0	17.8	4.8	0.5	1.0
	中部	54	20.4	55.6	20.4	1.9	1.9	54	75.9	20.4	1.9	-	1.9
	近畿	79	38.0	41.8	16.5	1.3	2.5	76	82.9	13.2	2.6	-	1.3
	その他地域	68	23.5	48.5	22.1	4.4	1.5	67	70.1	25.4	4.5	-	-

□2019年実施調査\_全体、従業員規模別、地域別（外国人学生採用実施経験あり企業／複数回答）

(%)

	最低限必要な日本語能力						望ましい日本語能力						
	n	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる(N1)	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N2)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N3)	基本的な日本語を理解することができる(N4)	基本的な日本語をある程度理解することができる(N5)	n	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる(N1)	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N2)	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる(N3)	基本的な日本語を理解することができる(N4)	基本的な日本語をある程度理解することができる(N5)	
全体	319	34.5	43.3	15.4	5.6	1.3	305	78.0	18.7	2.3	1.0	-	
従業員規模	300人未満	34	41.2	32.4	20.6	2.9	2.9	34	73.5	23.5	-	2.9	-
	300~999人	92	33.7	43.5	15.2	7.6	-	87	71.3	24.1	4.6	-	-
	1000~4999人	111	35.1	42.3	16.2	5.4	0.9	105	81.0	18.1	-	1.0	-
	5000人以上	35	31.4	48.6	11.4	5.7	2.9	33	78.8	18.2	-	3.0	-
地域	関東	190	31.6	46.8	14.7	5.8	1.1	182	76.4	20.3	2.2	1.1	-
	中部	39	38.5	35.9	20.5	5.1	-	36	77.8	19.4	2.8	-	-
	近畿	50	38.0	44.0	12.0	6.0	-	49	85.7	12.2	-	2.0	-
	その他地域	40	40.0	32.5	17.5	5.0	5.0	38	76.3	18.4	5.3	-	-

## 5) 外国人学生の入社後の活躍状況について

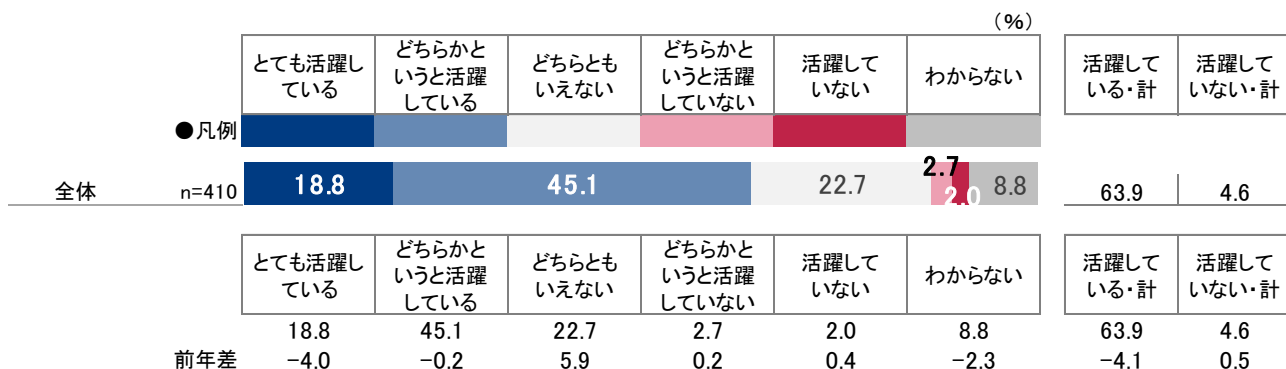
### 外国人学生の入社後、6割以上が活躍しているとの認識

外国人学生採用実施企業に、外国人学生の入社後の活躍状況を聞いたところ、「活躍している・計」は63.9%で、「活躍していない・計」は4.6%、「どちらともいえない」は22.7%と、活躍しているとの認識だった。

従業員規模別に見ると（P11）、どの規模もおおむね同傾向ではあるが、300人未満企業では「活躍していない・計」が13.2%と、他の規模が2%前後であるのに対して1割を超えている。

地域別に見ると（P11）、どの地域もおおむね同傾向ではあるものの、「活躍していない・計」は関東の2.9%が最も低い、干高い。

■外国人学生の入社後の活躍状況（外国人学生採用実施経験あり企業／単一回答）



\* 活躍している・計 = 「とても活躍している」 + 「どちらかという活躍している」

\* 活躍していない・計 = 「活躍していない」 + 「どちらかという活躍していない」

## 5) 外国人学生の入社後の活躍状況について\_従業員規模別、地域別

### ■外国人学生の入社後の活躍状況

□2020年実施調査（外国人学生採用実施経験あり企業／単一回答）

(%)

		n	とても活躍 している	どちらか という活躍 している	どちらとも いえない	どちらか という活躍 していない	活躍して いない	わからない	活躍して いる・計	活躍して いない・計
全体		410	18.8	45.1	22.7	2.7	2.0	8.8	63.9	4.6
従業員 規模	300人未満	76	21.1	35.5	18.4	9.2	3.9	11.8	56.6	13.2
	300～999人	137	19.0	46.7	24.1	1.5	2.2	6.6	65.7	3.6
	1000～4999人	138	23.2	42.0	22.5	1.4	0.7	10.1	65.2	2.2
	5000人以上	57	5.3	63.2	22.8	0.0	1.8	7.0	68.4	1.8
地域	関東	209	16.3	48.8	24.4	1.0	1.9	7.7	65.1	2.9
	中部	53	26.4	39.6	20.8	5.7	1.9	5.7	66.0	7.5
	近畿	79	20.3	43.0	19.0	3.8	1.3	12.7	63.3	5.1
	その他地域	69	18.8	40.6	23.2	4.3	2.9	10.1	59.4	7.2

□2019年実施調査（外国人学生採用実施経験あり企業／単一回答）

(%)

		n	とても活躍 している	どちらか という活躍 している	どちらとも いえない	どちらか という活躍 していない	活躍して いない	わからない	活躍して いる・計	活躍して いない・計
全体		316	22.8	45.3	16.8	2.5	1.6	11.1	68.0	4.1
従業員 規模	300人未満	33	12.1	45.5	18.2	9.1	6.1	9.1	57.6	15.2
	300～999人	91	24.2	44.0	16.5	3.3	1.1	11.0	68.1	4.4
	1000～4999人	108	26.9	47.2	13.9	1.9	0.9	9.3	74.1	2.8
	5000人以上	36	13.9	47.2	27.8	-	-	11.1	61.1	-
地域	関東	188	21.3	44.7	19.1	3.7	1.6	9.6	66.0	5.3
	中部	39	17.9	53.8	5.1	-	5.1	17.9	71.8	5.1
	近畿	50	38.0	40.0	14.0	2.0	-	6.0	78.0	2.0
	その他地域	39	15.4	46.2	20.5	-	-	17.9	61.5	-

\* 活躍している・計 = 「とても活躍している」 + 「どちらかという活躍している」

\* 活躍していない・計 = 「活躍していない」 + 「どちらかという活躍していない」

## 6) 外国人学生を採用しない理由について

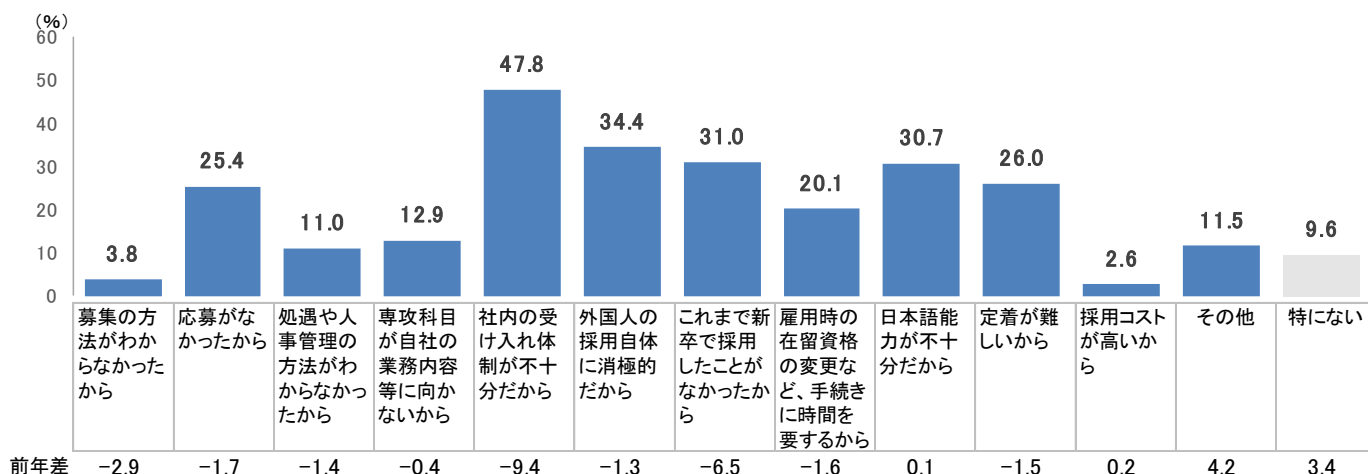
### 社内の受け入れ体制の不十分さが、外国人学生を採用しない最も高い理由

外国人学生採用を実施していない企業に、外国人学生を採用しない理由を聞いたところ、「社内の受け入れ体制が不十分だから」が47.8%と最も高く、「外国人の採用自体に消極的だから」34.4%、「これまで新卒で採用したことがなかったから」31.0%が続く。

従業員規模別に見ると（P13）、5000人以上企業は回答数が少ないため参考値ではあるが、どの規模も「社内の受け入れ体制が不十分だから」が最も高い。

地域別に見ると（P13）、どの地域も「社内の受け入れ体制が不十分だから」が最も高いが、次点は、関東および近畿は「日本語能力が不十分だから」、中部は「外国人の採用自体に消極的だから」、その他地域は「これまで新卒で採用したことがなかったから」である。

■外国人学生を採用しない理由（外国人留学生採用実施経験ない企業／複数回答）



## 6) 外国人学生を採用しない理由について\_\_従業員規模別、地域別

■外国人学生を採用しない理由（2021年卒採用実施かつ外国人留学生採用の非実施企業／複数回答）

□2020年実施調査（外国人学生採用実施経験ない企業／単一回答）

		n	募集の方法がわからなかったから	応募がなかったから	処遇や人事管理の方法がわからなかったから	専攻科目が自社の業務内容等に向かないから	社内の受け入れ体制が不十分だから	外国人の採用自体に消極的だから	これまで新卒で採用したことがなかったから	雇用時の在留資格の変更など、手続きに時間を要するから	日本語能力が不十分だから	定着が難しいから	採用コストが高いから	その他	特にない
全体		869	3.8	25.4	11.0	12.9	47.8	34.4	31.0	20.1	30.7	26.0	2.6	11.5	9.6
従業員規模	300人未満	354	4.2	26.3	14.7	12.4	48.0	40.1	33.9	22.6	31.1	27.1	2.8	9.3	9.0
	300～999人	323	3.7	26.0	9.3	11.8	51.4	34.1	28.2	18.6	29.7	24.5	0.9	12.1	10.8
	1000～4999人	161	3.7	24.2	8.1	17.4	39.1	24.2	32.3	16.8	34.8	25.5	3.7	13.0	9.9
	5000人以上	24	-	16.7	4.2	4.2	54.2	29.2	20.8	33.3	16.7	33.3	16.7	25.0	-
地域	関東	300	2.0	22.3	7.7	13.3	43.3	28.3	21.3	15.7	32.3	23.3	2.0	15.0	11.7
	中部	188	4.8	26.6	11.7	11.7	47.9	37.8	30.3	21.8	29.3	27.7	2.1	10.6	12.8
	近畿	129	0.8	23.3	12.4	14.0	48.8	30.2	31.8	20.9	32.6	24.8	2.3	8.5	9.3
	その他地域	252	6.7	29.4	13.9	12.7	52.4	41.3	42.5	23.8	29.0	28.6	4.0	9.5	4.8

□2019年実施調査（外国人学生採用実施経験ない企業／単一回答）

		n	募集の方法がわからなかったから	応募がなかったから	処遇や人事管理の方法がわからなかったから	専攻科目が自社の業務内容等に向かないから	社内の受け入れ体制が不十分だから	外国人の採用自体に消極的だから	これまで新卒で採用したことがなかったから	雇用時の在留資格の変更など、手続きに時間を要するから	日本語能力が不十分だから	定着が難しいから	採用コストが高いから	その他	特にない
全体		451	6.7	27.1	12.4	13.3	57.2	35.7	37.5	21.7	30.6	27.5	2.4	7.3	6.2
従業員規模	300人未満	177	10.7	27.1	13.6	11.3	58.8	34.5	39.0	22.6	29.4	25.4	4.0	6.8	7.9
	300～999人	155	3.9	27.7	9.0	15.5	58.7	38.1	36.1	23.9	30.3	30.3	1.9	6.5	4.5
	1000～4999人	57	3.5	31.6	14.0	10.5	45.6	22.8	35.1	10.5	29.8	24.6	-	14.0	5.3
	5000人以上	17	11.8	29.4	11.8	11.8	64.7	47.1	41.2	23.5	47.1	29.4	-	5.9	5.9
地域	関東	170	3.5	21.2	10.6	14.7	52.9	34.7	37.1	21.2	34.7	28.2	1.8	10.0	5.3
	中部	102	7.8	30.4	13.7	9.8	63.7	30.4	38.2	18.6	31.4	29.4	3.9	2.9	6.9
	近畿	62	9.7	27.4	12.9	12.9	54.8	32.3	43.5	25.8	32.3	22.6	1.6	6.5	4.8
	その他地域	117	8.5	32.5	13.7	14.5	59.0	43.6	34.2	23.1	23.1	27.4	2.6	7.7	7.7